

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県立文化芸術ホール（上野学園ホール）		
所在地	広島市中区白島北町 19-1		
設置目的	県民の文化芸術を鑑賞する機会を提供し、文化芸術の振興を図る。		
施設・設備	ホール（1,730 席）、リハール室（3 室）、スタジオ・オーディオルーム、録画編集室（2 室）、音楽室（2 室）、会議室（5 室）、レストラン		
指定管理者	5 期目	R3. 4. 1～R8. 3. 31	R C Cホールマネジメントグループ
	4 期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	R C Cホールマネジメントグループ
	3 期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	R C Cホールマネジメントグループ
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	共立・合人社共同事業体
	1 期目	H19. 4. 1～H20. 3. 31	（財）ゆうちょ財団

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5 期	R6	310,000 人	310,205 人	104,343 人	205 人	(100.1%)
		R5	255,000 人	205,862 人	△54,100 人	△49,138 人	(80.7%)
		R4	330,000 人	259,962 人	144,006 人	△70,038 人	(78.8%)
		R3	245,000 人	115,956 人	△97,455 人	△129,044 人	(47.3%)
	4 期平均	H28～R2	224,964 人	213,411 人	△15,754 人	△11,553 人	(94.9%)
	3 期平均	H23～H27	258,000 人	229,165 人	△31,541 人	△28,835 人	(88.8%)
	2 期平均	H20～H22	320,000 人	260,706 人	23,244 人	△59,294 人	(81.5%)
	1 期	H19	320,000 人	237,462 人	—	△82,538 人	(74.2%)
増減理由	劇団四季「キャッツ」ロングラン公演の実施により、入場者数が増加し、目標値達成に至った。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象】
	利用者アンケート（紙）	ホール自主事業イベント来場者
	【主な意見】	【その対応状況】
	子供がとても楽しんでいたので満足だった。	今後、更に魅力ある内容を検討する。
	もう少し長い時間、イベントを楽しみたいと思った。	イベントの実施時間等を検討する。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	—	
現地調査及び管理運営会議（随時実施）		【特記事項等】 施設・設備の老朽化 【指定管理者の意見】 施設の老朽化によって、応急処置が必要な不具合等が多々発生している。施設の修繕工事等を計画的に実施する必要がある。 【県の対応】 中長期的な観点から、計画的な修繕工事に着手する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5 期	R6	7, 581	△1, 185		5 期	R6	173, 464	90, 972
		R5	8, 766	△14, 145			R5	82, 492	△67, 379
		R4	22, 911	△29, 502			R4	149, 871	75, 333
		R3	52, 413	33, 942			R3	74, 538	△10, 215
	4 期平均	H28～R2	18, 471	18, 471		4 期平均	H28～R2	84, 753	△30, 222
	3 期平均	H23～H27	—	—		3 期平均	H23～H27	114, 975	△5, 370
	2 期平均	H20～H22	—	△26, 704		2 期平均	H20～H22	120, 345	20, 004
1 期	H19	26, 704	—	1 期	H19	100, 341	—		

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	7, 581	8, 766	△1, 185	燃料高騰に係る委託料の減
		料金収入（※1）	173, 464	82, 492	90, 972	ホール等の利用者の増
		その他収入	62, 091	40, 953	21, 138	レストラン等の利用者の増
		計(A)	243, 136	132, 211	110, 925	
	支 出	人 件 費	32, 031	32, 691	△660	人員体制の見直しによる減
		光熱水費	50, 451	39, 341	11, 110	ホール等の利用者の増
		設備等保守点検費	26, 998	26, 046	952	設備保守点検委託費の増
		清掃・警備費等	23, 508	14, 024	9, 484	ホール等の利用者の増
		施設維持修繕費	34, 529	6, 311	28, 218	経年劣化による館内修繕箇所の増
		事務局費	38, 985	13, 896	25, 089	ホール等の利用者の増
		その他	28, 210	17, 127	11, 083	レストラン等の利用者の増
	計(B)	234, 712	149, 436	85, 276		
収支①(A-B)		8, 424	△17, 225	25, 649		
自主事業 (※2)	収 入(C)		10, 962	11, 346	△384	自主事業の減
	支 出(D)		9, 546	9, 002	544	
	収支②(C-D)		1, 416	2, 344	△928	
合計収支(①+②)		9, 840	△14, 881	24, 721		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	劇団四季ロングラン公演実施にあたり、県内外からの来場者に優れた芸術鑑賞の機会を提供し、来場者数増となるように SNS や独自の PR を実施した。	県内外からの来場者に優れた芸術鑑賞の機会を提供できるよう、SNS 等を活用した広報に努め、文化芸術を鑑賞する機会の創出を図っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	ネーミングライツ権を有する「上野学園」と連携し、上野学園の学生と地域住民が交流する自主事業イベントを実施した。本イベントを通じて、地域住民に対し、ホールに親しむ機会を提供するように努めた。	指定管理者共同企業の特性を活かし、集客力のあるイベント開催を行い、県民に優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供している。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ホールについては平日利用促進として、学校への営業活動を実施、貸室についてはバレエ教室やヨガ教室等へ毎週定期的に利用していただけるよう調整することで、利用促進を図った。	利用者のニーズを的確に汲み取り、サービスの向上及び利用促進に取り組んでいる。
	○施設の維持管理	老朽化している設備に対して、都度、保守修繕対応しながら安定運営に努めた。	施設修繕工事について、優先度合を考慮しながら、適時対応している。また、急遽修繕が必要な工事について、適切な応急処置を実施している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正	ホールや貸室の利用状況に応じて、適切な勤務シフトの調整を行った。 燃料高騰下で可能な限り使用量を抑えて、収支の適正化に努めた。	燃料高騰下においても、収支の改善に向け適切に対応している。
総 括		劇団四季ロングラン公演の実施、施設の安定運営に係る適切な人員配置・収支の適正化に努めた。また、老朽化した設備の取替工事や LED 化工事を実施した。	大規模イベントの安定運営や収支の適正化を図りつつ、老朽化した施設・設備の維持管理を適切に行い、利用促進に取り組んでいる。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和 7 年度)	安定した施設の運営を図るため、突発的に発生する修繕工事等に対応し、引き続き、施設の利用促進に取り組む。	今後も指定管理者と随時情報を共有し、応急修繕工事の対応や施設の利用促進に繋がる検討を行う。
中期的な対応	計画的な施設修繕に向け、県と密に連携を図り、大規模修繕等が円滑に実施できるよう、対応する。また、地域住民等と連携を図り、施設の利用促進を図る。	指定管理者と連携して、中長期的な観点から、計画的な修繕工事に着手し、更なる施設の利用率向上を図る。